

令和4年度事業実施状況

【交流部関係】

I 多文化共生社会支援事業

1 外国人相談窓口運営事業（外国人相談窓口運営，相談員研修会など）	1
2 災害多言語支援センター事業（広島県災害多言語支援センター設置・運営訓練， 災害時ボランティア研修会など）	5
3 日本語学習支援事業	6
4 多文化共生ボランティア事業	8
5 情報提供事業（ふれあいコーナー運営，機関誌発行）	11
6 日本文化理解促進事業	12
7 ひろしま国際交流サミット運営事業	14
8 中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会運営事業	16

II 平和貢献推進・国際人材育成事業

9 平和貢献人材育成事業	17
10 グローバルキャリア教育支援セミナー事業	18
11 「国際理解講座」開催事業	19
12 国際人材養成「異文化コミュニケーション研修」開催事業	21

III 留学生支援事業

13 留学生奨学金支給等事業	22
14 留学生住宅情報提供事業（民間宿舎情報提供，留学生住宅保証）	23
15 留学生就職支援事業	24
16 留学生受入促進事業	29
17 留学情報等提供事業（留学生ウェブサイト，留学生交流）	30

1 外国人相談窓口運営事業

(外国人相談窓口運営、相談員研修会など)

1 目的

外国人が地域の重要な活力源として地域社会に参加できるよう、言葉や生活習慣の違いから生じる課題に適切に対応し、外国人が暮らしやすく、活躍できる環境づくりと地域で外国人と生活を共にする県民の国際理解を併せて進めていく。

2 事業概要

(1) 外国人相談窓口の運営（平成 18（2006）年 4 月 15 日開設）

設 置	広島県
運 営	(公財) ひろしま国際センター（広島県から運営を受託）
設置場所	広島市中区中町 8-18 広島クリスタルプラザ 6F
相談業務の概要	<目的> 広島で暮らす外国人の日常生活に関する相談に対応して、必要な生活情報を提供することにより、外国人が暮らしやすい環境を整備する。
	<業務内容> 在留資格や社会保険労務など様々な分野の相談に対して、面談や電話（フリーダイヤルあり）により多言語で対応する。
	<対応言語> 10 か国語（英語、韓国語、中国語、タガログ語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ネパール語）
相談体制	情報相談員と専門相談員（在留資格、社会保険・労働条件、法律・人権等、通訳）を配置し、専門的な内容の相談に多言語で対応できる体制を整える。

【相談日・時間】

区 分			相談日(※)	時 間
情報相談			月曜日～金曜日	10：00～12：00 13：00～19：00
			土曜日	9：30～12：00 13：00～18：00
在留資格			毎週 木曜日、土曜日	10：00～12：00
社会保険・労働問題			※法律・人権問題は土曜日のみ (前日までの予約により対応)	13：00～16：00 (12：00～13：00)
法律・人権問題			(毎月第4木曜日)	(14：00～19：00)
通訳	スタッフ	6 か国語 英語、中国語、タガログ語、ベトナム語、韓国語、スペイン語	毎週 木曜日、土曜日 ※韓国語とスペイン語は木曜日のみ	10：00～12：00 13：00～16：00
		12 か国語 英語、韓国語、中国語、タガログ語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ネパール語	月曜日～金曜日	8：30 ～ 19：00
	通訳会社		土曜日	9：30 ～ 18：00

(※) 祝日及び年末年始を除く

【電話番号】

フリーダイヤル 0120-783-806

(2) 市町へ出張相談

目的・内容	市町の外国人相談業務を補完し、また、遠隔地に居住する外国人住民の利便性を図るため、市町へ通訳相談員及び専門相談員を派遣する。
実施回数・実施場所	県内から地域を選定し、各地域で1回（1日）以上 実施場所は、市町の希望を確認し決定
出張相談日時	土曜日又は日曜日の10時～16時
相談内容	在留資格、社会保険、労働問題、法律、人権問題 通訳（英語、中国語、ベトナム語、タガログ語）

(3) 外国人相談の相談員（担当者）研修会

目 的	県や市町の外国人相談の窓口等において、外国人から相談を受ける際の注意点や技法を学ぶとともに、他団体の相談担当者との情報共有や連携を促進し、相談窓口対応の質の向上を図る。
内 容	○異なる文化・慣習を持った人とのコミュニケーション ○傾聴技法 ○相談員（担当者）自身のメンタルヘルス
対象者	県及び市町において、外国人住民等からの相談を受ける相談員や担当職員（国際交流協会等の職員を含む）
実施回数・実施場所	西部地域、東部地域、北部地域で各1回以上（計3回以上） 実施場所は、県と協議し決定

3 令和4年度実績

(1) 外国人相談窓口（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（単位：人・件数）

国籍	R4年度 相談人数	R3年度 相談人数
フィリピン	58	40
中国	57	70
ベトナム	48	42
米国	37	17
ペルー	20	10
ブラジル	15	19
インドネシア	9	8
スリランカ	7	0
ネパール	5	4
カナダ	5	0
バングラデシュ	4	10
韓国	3	7
タイ	3	3
モンゴル	3	0
ミャンマー	2	0
メキシコ	2	0
オーストラリア	2	3
ウクライナ	2	0
台湾	1	5
トルコ	1	0
インド	0	5
ポルトガル	0	3
日本	109	71
その他	26	16
不明	44	35
計（人、件）	463	368

相談内容	R4年度 相談件数	R3年度 相談件数	主な内容
入管手続	130	87	在留資格の取得・変更・更新（就労系：就職・転職、身分系：家族の呼び寄せ、婚姻等）
雇用・労働	43	52	不当解雇、給与未払い、パワハラ
社会保険・年金	25	21	健康保険の加入・脱退、失業保険手続き
税金	7	4	市県民税未納への対応
医療	87	73	新型コロナウイルス関係（病院の紹介、自主検査等による陽性後の対応、陰性証明書の取得）
出産・子育て	0	2	
教育	9	4	外国にルーツをもつ子どもの入学・進路
日本語学習	35	19	日本語教室、ワンペア日本語学習の紹介
防災・災害	1	0	豪雨災害の補償について
住宅	9	12	賃貸契約について
身分関係	24	14	結婚・離婚の手続き、子どもの親権、養育費
交通・運転免許	4	5	外国語対応可能な自動車学校の紹介、自動車免許証の更新、交通事故
通訳・翻訳	22	24	通訳派遣依頼、電話通訳依頼、書類等の翻訳
その他	112	80	損害賠償請求、貸付金返済、相続、事件・事故、詐欺被害
計	508	397	

(2) 市町への出張相談

市町	日 時	場 所	相談 件数	相談内容
三原市	令和4年10月4日(火) 13:30～16:30	三原市中央公民館・大講堂 (三原市円一町二丁目3番1号)	0件	
安芸高田市	令和4年10月16日(日) 10:00～16:00	安芸高田市多文化共生センター 「きらり」 (安芸高田市吉田町吉田406)	6件	入管手続 5件 財産分与 1件
三次市	令和4年11月12日(土) 10:00～16:00	みよしまちづくりセンター (三次市十日市西六丁目10番45号)	4件	入管手続 3件 離婚手続 1件

(3) 外国人相談の相談員（担当者）研修会

区分	日 時	参加 者数	講師
第1回	令和4年10月11日（火）13：30～15：30	6人	NPO（特定非営利活動）法人 ビザサポートセンター広島 理事長 益田 浩司氏
第2回	令和4年10月19日（水）13：30～15：30	11人	
第3回	令和4年10月28日（金）13：30～15：30	20人	

2 災害多言語支援センター事業

(広島県災害多言語支援センター設置・運営訓練、災害時ボランティア研修会など)

1 目的

県内に大規模災害が発生した場合に、言葉や慣習の違いから情報を入手しにくく支援を受けられない恐れがある外国人のために、必要な情報を多言語化して提供し、支援することを目的として、県と共同で支援センターを設置する。

2 事業概要

(1) 災害多言語支援センター設置・運営研修

開催日時	2022 年 6 月 22 日 (水) 14 : 30～15 : 30
実施場所	HIC 交流ホール (広島クリスタルプラザ 6 階) 及びオンライン (Zoom)
参加者数	ひろしま国際センター、広島県国際課・健康危機管理課、災害時外国人支援ボランティア 合計 23 名
実施内容	・ 広島県地域防災計画等に基づく災害多言語支援センターの位置付け等に係る講義 ・ 災害時多言語支援啓発動画「知識編」視聴 ・ 研修「災害発生時における避難所の設置について」 講師 広島県健康危機管理課 主任 鳥越俊明

(2) 広島県災害多言語支援センター研修・訓練

開催日時	2023 年 3 月 8 日 (水) 13 : 30～16 : 00
実施場所	HIC 交流ホール (広島クリスタルプラザ 6 階) 及びオンライン (Zoom) 配信
参加者数	ひろしま国際センター、広島県国際課、災害時外国人支援ボランティア、市町・国際交流協会 合計 36 名
講師	(公財)佐賀県国際交流協会(SPIRA) 企画交流課長 矢富明徳
内容	○講演 (事例紹介) 「佐賀県における災害多言語支援センターの活動及び災害対応について」 ○演習 「大規模災害時の外国人対応」 ・ 災害時の外国人に係る情報収集・共有 ・ 避難所における外国人への情報提供

3 日本語学習支援事業

【ワンペア日本語学習】

1 目的

外国籍県民が地域社会の一員として共に生活していくために必要な日本語コミュニケーション能力の習得を支援するとともに、県民ボランティアと外国籍県民が気楽に幅広い交流ができる場を提供し、身近な所から国際交流を推進する。

2 令和4年度実績

事業名／開催日	概 要	開催場所	参加者（人）
ワンペア日本語学習 ／随時開催	日本語を学びたい外国人と日本語を教えたい県民ボランティアがペアになり、お互いが都合のよい時間にそれぞれのカリキュラムで学習を行う。	HIC ふれあい コーナー	外国人 183 日本人 183

注：参加者数は延べ人数。

(参考) 過去の実施状況

(単位：人)

年度		H4～12	H13～24	H25～R1	R2	R3	R4	累計
区分	ペア数	901	3,634	1,608	192	144	183	6,662
	延人数	1,802	7,268	3,216	384	288	366	13,324
日本語教室	外国人 (延人数)	—	46,203	—	—	—	—	46,203
	日本人 (延人数)	—	19,281	—	—	—	—	19,281
延人数合計		1,802	72,752	3,216	384	288	366	78,808

※日本語教室は平成24年度をもって廃止

【ワンペア日本語学習支援ボランティア講座】

1 目的

ボランティアの資質向上を図るため、ワンペア日本語学習支援ボランティアを対象に講座等を実施する。

2 令和4年度実績

令和4年度ワンペア日本語学習支援ボランティア講座

ね ら い	①ボランティアに日本語を教えることだけがボランティアの役目ではないということを認識してもらう。 ②学習者が望む日本語学習とは何かをボランティアに気付いてもらう。 *ボランティアの役目として大切なこと* ・学習者が理解できていない「穴」を埋めてあげること ・学習者の興味・関心・考え・意見を引き出すこと ・学習者の声を聴き、学習者の気持ちに寄り添うこと
対 象 者	ワンペアボランティア登録後、ペア成立したことのないボランティアならびに現在学習者の紹介待ちのボランティア
日 時	令和4年12月2日（金）18：30－20：30
開催方法	集合研修（場所：ひろしま国際センター交流部交流ホール）
内 容	「外国人住民の『声』を聴く」 外国人住民をゲストとして迎え、ボランティアが実際に会話する機会をもつことで、在住外国人とはどういう人なのか体感する。（ワークショップ）
講 師	ひろしま国際センター 研修部 日本語常勤講師 犬飼康弘 氏
参加人数	受講者：22名 外国人住民ゲスト：6名

4 多文化共生ボランティア事業

1 目的

多文化共生活動に関心・意欲のあるボランティアに活動の場を提供するとともに、地域の外国人の利便性向上や各地域で行われる国際交流事業の効率的・効果的な実施を支援する。

2 事業概要

外国人の日本語学習の支援を行うワンペア日本語学習支援ボランティアや、住民・利用者向け資料等の翻訳、国際交流事業等での通訳・ガイドのボランティア、外国人住民が医療・保健機関を受診する際の医療通訳ボランティアなど、生活の様々な場面でコミュニケーションのサポートを行うボランティアの登録及び紹介・派遣を行っている。

また、ボランティア登録者の資質向上を図るため、講習会・研修会を実施している。

3 ボランティア登録者数（令和5年3月末現在）

分 野	登録者数（人）
ワンペア日本語学習支援	186
通訳・ガイド、翻訳	220
医療通訳	122
災害時外国人支援	69
ホームステイ・ホーム ビジットホストファミリー	23
計	620

4 ボランティア活動実績（令和4年度）

分 野	件数	延べ人数
ワンペア日本語学習支援	183	183
通訳・ガイド、翻訳	6	33
医療通訳	156	156
災害時外国人支援	0	0
ホームステイ・ホーム ビジットホストファミリー	15	—
計	360	372

(1) 通訳・ガイド、翻訳ボランティアの活動内容

(単位：人)

	時期	依頼者	内 容	対応 人数
1	5 月	広島県教育委員会	ミニ絵本「あかちゃんへ ことばのプレゼント」の翻訳（中国語）	1
2	7 月	(公財)広島観光コンベンションビューロー	第 25 回物理有機化学国際会議での観光情報の提供と通訳（英語）	4
3	8 月	(公財)広島観光コンベンションビューロー	World Conference on Computers in Education 2022 での観光情報の提供と通訳（英語）	3

	時期	依頼者	内 容	対応 人数
4	2 月	三原市経営企画課	三原市桜記念植樹祭におけるウクライナ避難民への通訳（英語）	1
5	3 月	広島港客船誘致・おもてなし委員会 （事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【宇品】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	10
6	3 月	広島港客船誘致・おもてなし委員会 （事務局：広島県土木建築局港湾振興課）	【五日市】客船乗船客に対する観光サポート及び通訳（英語）	14

（２）医療通訳ボランティアの活動実績

区 分	派遣件数	言語別内訳
医療機関	153 件	英語 48、中国語 65、ベトナム語 1、タガログ語 17、スペイン語 19 ポルトガル語 3
保健機関	3 件	英語 1、スペイン語 2
計	156 件	英語 49、中国語 65、ベトナム語 1、タガログ語 17、スペイン語 21、 ポルトガル語 3

５ ボランティアを対象にした講座等の開催

（１）ボランティア通訳ガイド講習会

ね ら い	通訳・ガイド、翻訳ボランティアの育成とともに、登録者以外の関心層にも公開し、ボランティアの裾野の拡大を図る。		
対 象 者	・通訳・ガイド、翻訳ボランティア登録者 ・日常会話レベル以上の英語が話せる方		
日 時	令和 5 年 2 月 25 日（土）14：00～17：00		
場 所	ひろしま国際センター 交流ホール		
形 式	対面式		
内 容	観光地（福山城、ばら公園）の紹介、通訳ガイドを行う際のポイント、英語力強化のポイント など		
講 師	一般社団法人 ひろしま通訳・ガイド協会 会長 畝崎 雅子 氏		
参加人数	31 名		

（２）医療通訳ボランティアスキルアップ研修

ア 講義（全言語共通）

講 師	倫理・心得、通訳技術の基礎：一般社団法人日本公共通訳支援協会 所属講師 医療知識：県内病院に勤務する医師	
テ ー マ	・医療知識 ①医療機関のかかり方、 ②がん、③生活習慣病	・通訳技術の基礎① ・医療通訳の倫理・心得②
日 時	① 6/25（土）14：00～15：30 ② 10/1（土）14：00～15：30 ③ 12/10（土）14：00～15：30	① 10/1（土）10：00～12：00 ② 10/1（土）13：00～14：00
参加者数	① 32 名、②25 名、③12 名	① 25 名、②22 名

イ 模擬通訳（各言語別）

日 時	第1回：オンライン	第2回：対面方式
	① 8/27（土）、②8/28（日）	① 10/29（土）、②10/30（日）
	言語別に午前と午後に分かれて実施（午前10：00～12：00、午後13：00～16：00）	
課 題	・保健所：HIV抗体検査 ・呼吸器：新型コロナウイルス感染症 ・救急外来：感染症	・内分泌内科：甲状腺のう胞 ・整形外科：半月板損傷 ・消化器科：大腸がん末期
参加人数	英語13名、中国語10名、ベトナム語7名、タガログ語4名、スペイン語4名	英語10名、中国語10名、ベトナム語7名、タガログ語6名、スペイン語3名、ポルトガル語6名

（3）新規医療通訳ボランティア養成研修（4日間コース）

ね ら い	新規医療通訳ボランティアの養成、派遣可能な登録者の拡充。
対 象 者	HIC医療通訳ボランティア登録希望者（受講資格） ・他の養成機関等が行う研修（概ね20時間）修了者、または ・自身が対象言語で受診できる程度の高度な会話が可能な語学力を有する者
日 時	7/9（土）10:00～16:30、7/10（日）10:00～17:00、7/16（土）10:00～17:00、7/17（日）9:30～16:00
場 所	HICほか（広島市内）
内 容	医療通訳の概要、多文化理解、倫理心得、医療知識（医療制度、医療費、身体組織、病気）、通訳技術の基礎、模擬通訳（各言語）、選考、面接
講 師	一般社団法人日本公共通訳支援協会 所属講師
参加人数	英語5名、中国語6名、ベトナム語4名、タガログ語2名

5 情報提供事業

(ふれあいコーナー運営、機関誌発行)

1 目的

県民や外国人が自由に歓談できるふれあいの場を提供するとともに、日本や外国に関する多様な情報を提供する。

2 事業概要

(1) 交流ホール等の運営 (平成4(1992)年7月7日開館)

① 所在地：広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階 (面積354㎡)

② 施設：

- インフォメーションコーナー：総合案内、情報提供 等
- ふれあいコーナー：歓談、外国の新聞・雑誌の閲覧 等
- 図書・情報コーナー：日本や外国の本・パソコンによる情報提供 等
- 交流ホール：国際交流を目的とした事業に貸出
- JICAコーナー：国際協力機構(JICA)の事業に関する情報揭示

(2) 「HIC通信」の発行：ひろしま国際センターからの情報提供機関誌

(3) 新聞広告の掲載：HICの事業紹介など

3 令和4年度実績

(1) 交流ホール等の運営 (開館日数：291日)

開館時間：月～金 10:00～19:00、土 9:30～18:00

休館日：日曜日、祝日、12月28日～1月4日

① 来館者数

区分	日本人	外国人	計	外国人比率
総数(人)	3,153	2,488	5,641	44.1%
1日平均	10.8	8.5	19.4	

② インフォメーションコーナーでの相談・問合せ件数

区分	日本人	外国人	計	外国人比率
総数(件)	67	192	259	74.1%
1日平均	0.23	0.66	0.89	

※来館者数の1日平均値は、コロナ対応での閉館日数を除いて算定

(参考) 過去の状況

(単位：人, %, 件)

年度 区分	H4～24計	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	累計
来館者総数	776,025	13,652	14,375	14,828	16,224	15,506	14,039	10,909	4,799	3,531	5,641	889,529
日本人	382,064	7,152	7,579	8,306	8,649	8,303	7,524	5,647	2,520	1,588	3,153	442,485
外国人	393,961	6,500	6,796	6,522	7,575	7,203	6,515	5,262	2,279	1,943	2,488	447,044
外国人比率	50.8	47.6	47.3	44.0	46.7	46.5	46.4	48.2	47.5	45.0	44.1	50.3%
相談・問合せ	76,976	812	664	560	498	296	359	406	308	143	259	81,343

(2) HIC通信の発行：4回 (第116～119号)

(3) 新聞広告の掲載：1回

(4) テレビ・新聞報道：7件 (留学生地域交流, 研修部施設紹介等)

6 日本文化理解促進事業

1 目的

在広外国人等に、地域の伝統行事への参加、歴史文化鑑賞などを通じた日本文化体験の機会や地域住民との交流の場を提供する。

また、草の根国際交流の輪を広げ、地域における国際交流を促進するとともに、ボランティアなどの活動の場を提供する。

2 事業概要

(1) 地域交流促進

日頃、外国人との交流が少ない地域で開催されるイベント・行事などに、外国人参加者の募集・派遣を行い、地域住民と外国人とが交流できる機会を提供する。

(2) 外国人日本文化体験

在広外国人を対象に、能楽や雪生活など日本・広島伝統的な文化やイベントの体験機会を提供する。



雪生活体験での スポーツ雪合戦（左）、 高校生との交流会（右）

3 令和4年度実績

(1) 地域交流推進

実施日	プログラム名	実施場所	協力団体等	外国人参加者	
				人数	国・地域
2月10日 (金)	雪生活体験	北広島町	広島県立加計高等学校芸北分校	29	16

(2) 外国人日本文化体験

実施日	プログラム名	実施場所	協力団体等	外国人参加者	
				人数	国・地域
5月23日 (月)	能楽鑑賞	広島アステールプラザ	(公財) ひろしん文化財団	28	11

地域交流推進 過去の実施状況（平成 17(2005)年度開始）

区分／年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
プログラム数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
参加延べ人数（人）	44	42	39	37	42	79	46	28	29
参加者の国・地域	11	8	11	13	14	16	16	14	16
協力ボランティア（人）	2	0	0	0	2	1	1	0	0

区分／年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
プログラム数	1	2	2	2	2	2	2	2	1
参加延べ人数（人）	49	91	77	82	81	80	78	82	49
参加者の国・地域	7	23	18	20	15	20	25	20	11
協力ボランティア（人）	63	139	130	130	137	126	72	7	3

外国人日本文化体験 過去の実施状況（平成 17 年度開始）

区分／年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
プログラム数	1	1	1	1	1	1	－	－	1
参加延べ人数（人）	42	25	39	7	27	33	－	－	28
参加者の国・地域	8	6	8	5	8	9	－	－	11
協力ボランティア（人）	0	0	0	0	0	2	－	－	0

区分／年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
プログラム数	3	3	4	5	3	3	3	1	1
参加延べ人数（人）	89	108	138	239	121	138	119	20	22
参加者の国・地域	13	17	27	35	19	21	23	7	6
協力ボランティア（人）	40	42	60	55	43	50	43	0	0

（参考）旧地域交流推進事業 過去の実施状況（平成13年度開始）

区分／年度	H13	H14	H15	H16	累計
プログラム数	12	6	10	8	36
参加者数計（A+B）	1,302	550	1,729	794	4,375
事業参加者（A）	1,255	443	1,448	629	3,775
協力ボランティア（B）	47	107	281	165	600
協力ボランティアの国・地域	18	24	41	10	93

注：日本人参加者数には、中学校等からの依頼による国際理解教室参加中学生数を含む。

（参考）旧外国人日本文化体験プログラム実施事業 過去の実施状況（平成8年度開始）

区分／年度	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	累計
プログラム数	6	7	7	6	6	6	6	4	5	53
参加延べ人数（人）	257	353	349	191	222	244	224	156	175	2,171
参加者の国・地域	30	49	34	20	23	25	24	25	39	269
協力ボランティア数 （人・家族）	90	87	180	112	168	192	42	56	67	994

7 ひろしま国際交流サミット運営事業

1 目的

県内の国際交流団体やボランティアグループ等の情報交換・活動促進と相互連携を図る。

2 事業概要

県内の国際交流・協力団体やN G O・ボランティアグループ等により構成される「ひろしま国際交流サミット」(平成元(1989)年11月18日設立)の運営として、情報交換や協働事業の企画等を行う。

3 令和4年度実績

(1) ひろしま国際交流サミットの開催

会議名	開催日・場所	出席者	内 容
総会	8月3日(水) 広島市 TKPガーデンシティ広島 及び ひろしま国際センター	【出席者計】 21団体 46名 (内訳) ・来場出席 11団体 23名 ・Zoom出席 10団体 23名 ※両方に参加された 団体あり	○役員紹介 ○議長挨拶 ○令和3年度事業実績について ○講演会 テーマ：広島の国際的な魅力～ロケ 地広島・映画誘致の現場 より～ 講 師：広島フィルムコミッション 西崎 智子氏

※新型コロナウイルスの影響で、Web会議(Zoom)を併用して開催。交流会は中止とした。



ひろしま国際交流サミット総会・講演会

(2) 令和4年度助成金交付事業
該当事業なし

(参考1) 役員名簿

職名	氏 名	所 属
議長	上田 みどり	広島経済大学 名誉教授
副議長	小泉 崇	(公財)広島平和文化センター 理事長
副議長	西田 敏啓	(公財)ひろしま国際センター専務理事(兼)事務局長
幹事	宮地 尚	(特非)福山ブルガリア協会 会長
幹事	安藤 周治	さくぎ交流協会 会長
幹事	倉本 道正	(公財)東広島市教育文化振興事業団 常務理事

(参考2) 加盟団体の状況(各年度末) 単位:団体数

分科会 \ 年度	H4	H5	H6～H29	H30	R1	R2	R3	R4
広島地域	107	111	…	112	112	112	109	111
備北地域	11	13	…	6	7	6	6	6
備後地域	21	27	…	24	22	21	21	20
広島中央地域	—	—	…	10	11	11	11	12
合計	139	151	…	159	152	150	147	149

8 中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会運営事業

1 目的

地域を基盤として国際化活動をしている中国・四国地区の地域国際化協会が、情報交換や相互連携を通じて、地方における国際化活動の充実発展と全域的な国際化の促進に寄与する。

2 事業概要

幹事協会が座長となり、協議会を年1回開催する。

(参考) 構成団体

団 体 名	所 在 地
(公財) 鳥取県国際交流財団	鳥取県鳥取市
(公財) しまね国際センター	島根県松江市
(一財) 岡山県国際交流協会	岡山県岡山市
(公財) 山口県国際交流協会	山口県山口市
(公財) 徳島県国際交流協会	徳島県徳島市
(公財) 香川県国際交流協会	香川県高松市
(公財) 愛媛県国際交流協会	愛媛県松山市
(公財) 高知県国際交流協会	高知県高知市
(公財) 広島平和文化センター	広島県広島市
(公財) ひろしま国際センター	広島県広島市

3 令和4年度実績

中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会の開催

(令和4年度幹事協会：(公財) 徳島県国際交流協会)

- (1) 開催日：令和4年10月26日(水)
- (2) 開催方法：オンライン会議(※)
- (3) 出席者：構成団体及び(一財)自治体国際化協会の役職員
- (4) 内 容：○事業説明((一財)自治体国際化協会 多文化共生課長)
○各協会の概況報告
○提出議題についての意見交換
○研修会(JP-MIRAI との共催)
テーマ：責任ある外国人労働者受け入れのための外国人支援について
～外国人支援の発展と協働を目指して～
講 師：NPO法人国際活動市民中心 新居 みどり氏 ほか

※ 翌日(10月27日(木))開催の「災害時外国人支援現地訓練」出席者の一部は現地参加

9 平和貢献人材育成事業

1 目的

国際協力や NGO 活動、開発途上国に関する県民の理解を促進する。

2 事業概要

当センター主催の「H I C 世界体験デー」を開催し、外国人ボランティアと地域住民が互いに交流し、異文化体験や国際交流ができる場を提供した。

3 令和4年度実績

開催日時	令和4年11月3日(木・祝) 10:00~16:00		
開催場所	公益財団法人ひろしま国際センター		
ねらい	国際交流・協力活動を行う団体等による活動紹介や芸能披露などを行うとともに、在住外国人を含む参加者に楽しみながら異文化理解・国際交流をしてもらえる参加型事業を行った。		
内 容	国際交流員や留学生等の在住外国人による各種ワークショップ(世界の国クイズ、外国人との交流ブース、ランタンづくり、折り紙での韓服づくり、中国剪など)や団体等によるステージでの芸能披露(歌・舞踊・楽器の演奏)		
参加人員	来場者 185 人		
総 括	当センター単独でのイベント開催3年目となり、多くの県住民に外国人との直接対話交流や異文化を知る機会を設けることができ、好評を得ることができた。また、日本人の家族連れや、外国人ボランティアの友人等が多く訪れ、これまで当センターの利用経験がなかった客層も多く来場し、幅広い方に当センターの存在をPRできた。		
開催状況	【外国人とのおしゃべりブース】		【ブラジル国技・カポエイラ】
			
	【カップでベトナムの光るランタンづくり】		【メキシコのお面づくり】
			

10 グローバルキャリア教育支援セミナー事業

1 目的

国際舞台で活躍する人づくりに向け、県内の中・高生や大学生を対象に、海外での仕事経験がある講師が国際関係の仕事の紹介をし、広島から世界の懸け橋となる人材の育成支援を目的にセミナーを開催した。

2 事業概要

第1回は国際連合軍縮部と国連事務局本部の方、第2回は外務省国際機関人事センターと国連世界食糧計画（WFP）モザンビーク事務所の方を講師として、それぞれの体験談ややりがい、国際関係の仕事の種類や違いについてオンラインでお話いただいた。

3 令和4年度実績

実施日	令和4年7月3日（日）	令和4年10月2日（日）
テーマ	国際連合軍縮部と 国際連合事務局本部による講演	外務省 国際機関人事センターと 国連世界食糧計画（WFP）による講演
内 容	・第1部：池田 有紀美氏（国連軍縮部）の講演・質疑応答 ・第2部：巽 万里子氏（国連事務局本部）の講演・質疑応答 ・全体を通しての質疑応答	・第1部：栗原真由花氏（外務省）の講演・質疑応答 ・第2部：三橋利佳氏（WFP モザンビーク事務所）の講演・質疑応答 ・全体を通しての質疑応答
講 師	池田 有紀美氏/国連軍縮部 巽 万里子氏/国連事務局本部	栗原 真由花氏/外務省国際機関人事センター 三橋 利佳氏/WFP モザンビーク事務所
参加人員	47 人	30 人
総 括	現在のお住まいであるニューヨークから繋ぎ、仕事の体験談や国連職員になるために必要なスキル、国連での仕事についてお話しいただいた。さらに、講師の方の学生時代のお話や経験をもとに、海外での仕事や国連機関で働くことについて、具体的なアドバイスをいただき、多くの質問に答えてくださった。	外務省の栗原氏より、国際機関で働くための各種制度について説明があり、さらに、ご自身のこれまでの海外での活動についてもお話しいただいた。 また、三橋氏は WFP での仕事内容などを分かりやすく説明していただき、参加者は真剣な表情で聞き入っていた。
開催状況	 	 

1 1 「国際理解講座」開催事業

1 目的

社会人向けの学術的な講演会は大学の公開講座などで開催されているが、中学生や高校生向けのものはあまりなく、分かりやすく写真や事例を交えて講師の方に説明していただくことで、今世界で起きている問題を知るきっかけ作りとして開催した。また、問題の本質を理解し、皆で共有することを目的としている。

2 事業概要

異文化コミュニケーション事業の一環として開催。世界では様々な問題が発生しているが、これらの課題の発生原因や背景を専門家により分かりやすく解説してもらい、私たちにできることは何かを考える。(オンライン (Zoom) 開催)

3 令和4年度実績

実施日	令和4年6月5日(日)	令和4年9月17日(土)
テーマ	技能実習生ってなんだ？ ～広島県の技能実習生を考える～	アフリカの貧困と平和を考える
内 容	・第1部：「技能実習制度について考えよう」 岩下康子氏の講演・質疑応答 ・第2部：「安芸高田市国際交流協会の取り組み」 村本美奈氏および安芸高田市の技能実習生の講演・質疑応答 ・第3部：全体を通しての質疑応答	・第1部：「ニジェールとその周辺国について～広島と平和と～」 山本主税氏の講演・質疑応答 ・第2部：「アフリカの貧困～ブルンジの事例」 ドゥサベ友香氏の講演・質疑応答 ・第3部：全体を通しての質疑応答
講 師	岩下康子 氏/広島文教大学 准教授 村本美奈 氏/ NPO 安芸高田市国際交流協会 理事	山本主税 氏/ JICA ニジェール支所 ドゥサベ 友香 氏
参加人員	60 人	65 人
総 括	岩下氏からは、技能実習制度やその仕組みを分かりやすく説明いただいた後、事例を交えて技能実習生の問題点について指摘いただいた。 村本氏からは、安芸高田市の技能実習生と地域住民との積極的な交流や、多文化理解、言葉の壁を乗り越えるための様々な活動を紹介いただいた。また、質疑応答には安芸高田市の技能実習生2名にも参加していただき、参加者からの率直な質問に回答した。 日本の外国人労働者との向き合い方を考えるきっかけになる講演となった。	山本氏はニジェールから繋いで、その国の気候や産業、文化など写真を交えて分かりやすく説明いただいた。また、ニジェールとその周辺国におけるテロの脅威などにも触れ、私たちにできることを考えた。 ドゥサベ氏はブルンジから繋ぎ、ブルンジに住む15歳の女の子の日常を写真とともに物語形式でお話いただき、食糧不足や学習環境が整っていない様子など現地のリアルな現状を紹介し、貧困の要因を考えた。 参加者からは、全て紹介しきれないほどの質問があり、大盛況に終わった。
開催状況		

実施日	令和5年1月22日（日）
テーマ	パキスタンの洪水から考える気候変動問題
内 容	・第1部：「みんなが知れば必ず変わる！～気候変動問題の現状と私たちにできること～」 - 谷口たかひさ氏の講演・質疑応答 ・第2部：「Climate change - Urgent action needed」 - ショアイブ ハイダー氏の講演・質疑応答 ・第3部：全体を通しての質疑応答
講 師	谷口 たかひさ 氏/環境活動家 ショアイブ ハイダー 氏/国際 NGO HOPE'87 パキスタン支部長
参加人員	30 人
総 括	谷口氏からは、気候危機によって世界で今何が起きているか、またどうすれば変えられるのかを写真や動画を交えて発信いただいた。異常気象や気候変動がこの先も続くと、食糧危機が起き、引いては戦争に繋がってしまう問題であると気付かせていただいた。 ハイダー氏はパキスタンから繋いで、パキスタンが洪水によって甚大な被害を受けていることを現地の写真とともにお話しいたき、それが気候変動によるものだと言った。 参加者からは、一人一人が環境に対して意識を持ち、身近なことから行動を起こそうと思ったとの声があった。
開催状況	

1 2 国際人材養成「異文化コミュニケーション研修」開催事業

1 目的

県内の留学生や外国人住民等が自国の文化、習慣等について県内在住の日本人や外国人に紹介し気軽な雰囲気でのコミュニケーションを行うことを通じて、多様性を理解するきっかけ作りとする。また、異文化交流を通し、相互理解を深め、多文化共生社会づくりの一助として、顔の見える関係を作る。

2 令和4年度実績

実施日	7月23日(土)	8月27日(土)
イベント名	オンライン韓国料理教室	JICA キッズセミナー
内容	韓国出身の国際交流員に韓国料理を教わり、料理を作りながら韓国文化について知るとともに、県内在住の日本人・外国人がお互いに交流できる場を提供する。	小学生を対象に、外国について知り興味を持つきっかけづくりを目的として、元JICA 青年海外協力隊員による赴任国の紹介を行った。
講師	クオン・ヒョンジン 氏	花岡 早織氏 (ラオス派遣) 服部 美樹子氏 (フィリピン派遣)
参加人員	7組	12名
開催状況		

実施日	2月4日(土)
イベント名	春節を祝う餃子づくり交流会
内容	中国の春節でよく食べられる水餃子を作る料理教室を実施し、中国の食文化を通して中国についての理解を深めながら、一緒に食事をし、異文化交流を行った。
講師	田中 歩氏、NPO 法人虹橋の会
参加人員	17名
開催状況	

1 3 留学生奨学金支給等事業

1 目 的

県内で学ぶ外国人留学生の生活を支援するとともに、日本文化の理解を深め、県民との交流を促進する。

2 事業概要

(1) 留学生奨学金支給制度

広島県内の大学、大学院、短期大学等に在籍する私費外国人留学生に対し、奨学金を給付し、留学生の学生生活の安定と、諸外国との友好交流の促進に寄与することを目的とした制度

① ひろしま国際センター留学生奨学金制度：1 か月 3 万円、年間 36 万円を分割給付

○ センター：ひろしま国際センターの一般財源による奨学金（昭和 63(1988)年度開始）

○ 企業等協力：企業等の寄附（1 口 37 万円）による冠奨学金

年 2 回留学生と支援企業との交流会を開催（平成 2(1990)年度開始）

○ 県民支援：県民の寄附（1 口 5 千円）による奨学金（平成 6(1994)年度開始）

② 渡日等留学生支援に係る奨学金制度：18 万円を一括給付（平成 26(2014)年度開始）

新規の渡日又は他県からの転入により、新たに県内の大学や短期大学に進学した私費留学生を対象に、最も生活が不安定な時期である入学後半年間に重点化し、支援を行う。

○ ひろしま国際センター：ひろしま国際センターの自己財源による奨学金

○ 広島県留生活躍支援センター：広島県留生活躍支援センターの会費による奨学金

(2) 県内文化施設等優待事業

県内 64 文化施設等の入場料等を減免（昭和 63(1988)年度開始）

3 事業実績

年度 区分				S63 ～ H23 累計	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	累計
ひろしま国際センター 留学生奨学金	センタ－	支給 (人)	通期	212	7	8	3	3	3	3	3	3	4	4	4	257
			下期	194	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	194
	企業等協力	支給 (人)	通期	1,052	51	50	47	45	48	49	48	46	38	36	37	1,547
			下期	63	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	64
		企業等数		954	44	42	41	39	40	41	39	39	35	35	34	1,383
		口数		1,081	51	49.5	46.5	44.5	47.5	48	47.5	47	37.5	36	37	1,573
	県民支援	支給 (人)	通期	62	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	84
			下期	87	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	87
		会員数		3,255	72	78	78	75	66	67	68	68	68	66	72	4,033
渡日等留学生支援に 係る奨学金	センタ－	支給 (人)	前期			6	6	6	6	6	6	4	5	13	58	
			後期			4	4	4	3	4	4	4	1	3	31	
	広島県留学生 活躍支援センタ－	支給 (人)	前期			6	6	6	6	6	6	3	5	13	57	
			後期			4	4	4	4	4	4	4	2	3	33	
支給人数（人）				1,670	60	60	72	70	73	73	73	72	59	55	75	2,412
文化施設等優待カード 発行数				9,194	628	586	667	615	1,092	1,584	1,606	1,010	424	341	1,309	19,056

1 4 留学生住宅情報提供事業

(民間宿舎情報提供、留学生住宅保証)

1 目 的

県内で学ぶ外国人留学生に対し、民間宿舎の物件情報提供や賃貸借契約の連帯保証人として機関保証を行うことにより、外国人留学生の住宅確保の円滑化を図る。

2 事業概要

(1) 民間宿舎情報提供事業

広島県留生活躍支援センターのウェブサイトから各高等教育機関の所在地別に民間宿舎情報が検索できるサイトにリンクを貼って、各大学が立地する地域ごとに検索できる民間宿舎情報を提供する。

(2) 留学生住宅保証事業（平成 24(2012)年度開始）

① 対象者

「留学生住宅保証制度」に加入している広島県留生活躍支援センターの会員である大学、短期大学及び高等専門学校に在籍又は入学を許可された留学生

② 利用条件

- ・留学生は大学等の推薦を受けること。
- ・留学生は公益財団法人日本国際教育支援協会の「留学生住宅総合補償」に加入すること。
- ・ひろしま国際センターが定める「建物賃貸借契約書」を使用すること。

③ 内容

- ・延滞家賃とその延滞損害金
- ・退去に伴う原状回復に要する経費
- ・行方不明時及び帰国時の家財等の処分に要する経費

④ 保証金額

- ・建物賃貸借契約を解約する際に必要な補修費用などを敷金から充当しても不足する場合の債務の金額を保証し、「留学生住宅総合補償」の補償金支払額（上限 30 万円）を限度とする額



3 事業実績

- (1) 令和 4 年度の利用者・・・・・・・・・・ 1 4 名
- (2) 平成 2 4 年度制度開始以来の利用者総数・・・・ 8 4 名
- (3) 留学生住宅保証制度加入大学数・・・・・・ 8 大学

1 5 留学生就職支援事業

1 目 的

外国人留学生の県内企業への就職支援を強化し定着促進を図る。

2 事業概要

- (1) 体系的就職セミナー開催事業
- (2) インターンシップ事業
- (3) 就職活動個別コンサルタント事業
- (4) 企業・留学生交流会事業
- (5) 留学生企業説明会事業
- (6) ビジネス日本語セミナー

3 令和4年度実績

- (1) 体系的就職セミナー開催事業

<就職活動実践セミナー>

ア) 目 的

日本企業への就職を目指し、これから就職活動を始めようとしている外国人留学生（学部3年・修士1年等）を対象に、「自己分析」「企業分析」「エントリーシートの書き方」「面接対策」など、就職活動に必要な知識やスキルの習得を図る。

イ) 事業概要

- ① 対 象 者：これから就職活動を始めようとしている留学生（学部3年、修士1年等）
- ② 実施日等

（広島会場 15 時 30 分～16 時 30 分：インターンシップ説明会同日開催）

会場	日時	場所	申込者数	受講者数
広島会場	8 月 7 日（日） 13 時～15 時 30 分	ひろしま国際センター 交流ホール	9	7
広島会場	12 月 26 日（月） 13 時～15 時 30 分	ひろしま国際センター 交流ホール	15	8
東広島会場	2 月 12 日（日） 10 時～15 時 30 分	東広島芸術文化ホール くらら	18	5
<模擬面接会>	3 月 10 日（金） 10 時～12 時	広島国際会議場 ヒマワリ	9	4
		合 計	51	24

- ③研修内容：日本の就活の流れを知ろう
日本の就活マナーを知ろう
自己PRの書き方
ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）の書き方
面接を体験してみよう

- ④講 師：株式会社ディスコ 村戸 明良氏



<入社準備セミナー>

ア) 目 的

日本企業への就職が決まった外国人留学生を対象に、「在留資格」「ビジネスマナー」「税金・保険」など、企業で働く際に必要な知識やスキルの習得を図る。

イ) 事業概要

- ① 対 象 者：令和5年4月に日本企業へ入社予定の留学生
- ② 実施日及び場所：令和4年12月11日（日）13時～16時10分
ひろしま国際センター 交流ホール
- ③ 参加者数等：申込者数 10名 受講者数 6名
- ④ 研修内容：・日本の企業文化の理解「挨拶～報・連・相（遅刻・休みの連絡などを含む）」
・在留資格の変更手続きについて、給料から引かれるもの（税金や社会保険料など）
- ⑤ 講 師：一般財団法人日本国際協力センター 早田 典子氏
行政書士 沢谷 京子氏



<就職活動開始セミナー>

ア) 目 的

就職活動中の留学生（学部4年生・修士2年生）を対象として、本格的に採用選考が始まる前に、就職活動の重要なポイントについて学ぶ。

イ) 事業概要

- ① 対 象 者：学部4年生・修士2年生及び既卒の留学生
- ② 実施日及び場所：令和5年3月10日（金）13時～13時30分
広島国際会議場ヒマワリ
- ③ 参加者数等：申込者数 52名 受講者数 47名
- ④ 研修内容：3月中にやっておくべきことは何か、エントリーの仕方や応募書類の提出方法、面接の受け方についてなど
- ⑤ 講 師：株式会社ディスコ 杉川 義之介氏



(2) インターンシップ事業

ア) 目的

県内企業での就業体験の場を提供し、実践的なビジネス日本語能力の向上や日本企業の理解促進を図る。

イ) 事業概要

- ① 対象者：広島県内企業に就職意思又は関心がある留学生
- ② 実施時期：令和4年8月～令和5年2月
- ③ 受入協力企業及び参加人数
協力企業：8社
実施企業：2社
参加人数：17名

(3) 就職活動個別コンサルタント事業

ア) 目的

県内留学生の就職活動に対する個別相談を行い、県内企業への就職を促進する。

イ) 事業概要

- ① 対象者：就職活動実践セミナー受講者、就職活動開始する学部3年・修士1年、及び就職活動中の学部4年・修士2年・博士課程の留学生等
- ② 実施時期：令和4年4月～令和5年3月
- ③ 相談内容：就職活動計画の策定、採用企業の情報提供、就職活動に関わる個別相談等
- ④ 実施方法：面談、オンライン（Zoom・Skype）、メール、電話及びFax等による。
- ⑤ 実績：30名（新規22名+継続8名）

(4) 企業・留学生交流会事業

ア) 目的

企業と留学生の相互理解を深めるための場を提供するとともに、留学生採用企業の掘り起しにもつなげる。

イ) 事業概要

<第1回>

外国人留学生就職交流会（JETRO・（一社）中国経済連合会共催）

- ① 開催日（場所）：令和4年9月6日（火）（オンライン）
- ② 参加者：企業関係 11社
留学生 22名（8校）
- ③ 内容：第1部 留学生就職活動セミナー（OB・OGの体験談講演）
第2部 企業ごとにブレイクアウトルームに分かれて会社説明

<第2回>

留学生採用予定企業との交流会

- ① 開催日（場所）：令和4年12月3日（土）（広島県立産業会館「キャリタス就活」フォーラム内）
- ② 参加者：企業関係 2社
留学生 2名（2校）
- ③ 内容：留学生がキャリタス就活フォーラム出展企業を訪問する。また、出展企業の内、留学生の採用を検討している企業の採用担当者を招き、留学生と交流してもらう。

(5) 留学生企業説明会事業

ア) 目的

留学生に特化した企業説明会を開催し、企業と留学生とのマッチングを促進する。

イ) 事業概要

- ① 開催日（会場）：令和5年3月10日（金）（広島国際会議場ヒマワリ）
- ② 対象者：主に県内の留学生採用企業と外国人留学生

③ 参加状況：出展企業 25 社（24 ブース）、参加留学生 47 名



(6) ビジネス日本語セミナー

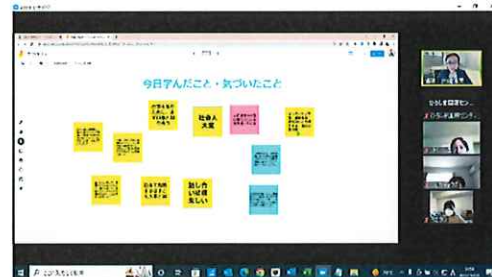
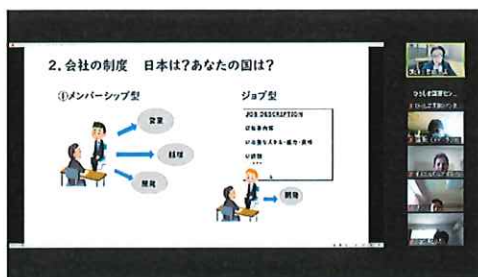
<ビジネス日本語講座> 【新規】

ア) 目的

日本での就職活動に役立つ日本語力を高める。また、日本の商習慣や敬語などを学び、応募時から就職後まで日本人とのスムーズなコミュニケーションをはかれるような日本語を身につける。

イ) 事業概要

- ① 対象者：当センター構成団体の大学・短期大学・高等専門学校に在籍している日本語能力試験N2相当以上の留学生
- ② 実施日及び方法：令和4年10月1日（土）～12月17日（土）の毎週土曜日
13時30分～15時（全12回）
Zoomによるオンライン講座
- ③ 参加者数等：申込者数 58名 受講者数 20名
- ④ 講座内容：日本の商習慣に関する理解、ビジネス日本語（敬語の基本や会話練習・クッションことば・ビジネスメールや電話会話の基本）面接対策
- ⑤ 講師：株式会社オリジネーター専属講師



<「自分」再発見プログラム>

ア) 目的

日本で就職活動を行う前段階として、「自分を知る」きっかけを提供し、今後の留学生活や実際の就職活動の充実につながる契機とする。

イ) 事業概要

- ① 対象者：当センター構成団体の大学・短期大学・高等専門学校に在籍している日本語能力試験N2相当以上の留学生
- ② 実施日及び場所：令和4年11月5日（土）10時～11月6日（日）17時30分
ひろしま国際プラザ（1泊2日）
- ③ 参加者数等：申込者数 21名 参加者数 9名

- ④ 研修内容：グループワークや街頭での調査活動を通じて、現在の自分の日本語による表現力やプレゼンテーション能力を知り、さらなる向上に向けたきっかけづくりにするもの。
- ⑤ 講 師：ひろしま国際センター日本語講師



1 6 留学生受入促進事業

1 目 的

国内外からの優秀な留学生の受入れを促進するため、広島県の留学環境や県内大学・日本語教育機関を紹介するPR活動を行う。

2 事業概要

広島県の留学環境や県内大学・日本語学校等を紹介するパンフレットの作成や、県内の留学生で結成した「ひろしま留学大使」によるSNSを通じた広島県の留生活の魅力発信、国内外の日本語学校等で勉学している留学生及び留学生の進路指導を行う教職員を対象とする「オンライン大学進学説明会事業」を実施する。

3 令和4年度実績

(1) ひろしま留学大使事業

中国、ベトナム、インドネシア、フィリピン、カンボジア、スリランカの6か国・地域からの留学生25名により結成された「ひろしま留学大使」が、SNSを通じて広島留学の魅力を国内外の外国人学生に母国語と日本語で発信。また地域や留学生を取り巻く課題を解決するため、グループごとにテーマを決め課題解決を目指す「HIC Challenge Club」を実施。

(2) 進学説明会事業

ア) 目 的

国内外の日本語学校、専門学校等に在籍する留学生および留学生の進路指導を行う教職員を対象に、オンライン（Zoom）にて広島県の留学環境の紹介や広島県内大学への進学を促進する。

イ) 事業概要

①留学生・教職員向け

実施日時：令和4年9月2日（金）13：30～16：10 ※国公立大学5校

令和4年9月5日（月）13：30～16：10 ※私立大学4校5学部

実施方法：オンライン（Zoom）

1回30分（説明・質疑応答）

※スケジュールに沿って各大学説明後、大学ごとのブレイクアウトルームにて個別相談対応。

参加者数：最大83名（重複者含む）

(3) 大学体験入学会

ア) 目 的

県内外の日本語学校等に在籍する留学生に実際に県内大学を訪問してもらい、大学施設の見学や模擬授業の体験などを通して県内大学進学を促す。

イ) 事業概要

①県立広島大学・叡啓大学

実施日時：令和4年9月13日（火） 参加者数：10名（内1名は引率者）

②福山大学・福山平成大学

実施日時：令和4年10月6日（木） 参加者数：2名

③広島国際大学・広島大学

実施日時：令和4年10月11日（火） 参加者数：3名

④広島経済大学・広島修道大学

実施日時：令和4年10月26日（水） 参加者数：19名

※広島市立大学・比治山大学は台風のため中止。

1 7 留学情報等提供事業

(留学生ウェブサイト、留学生交流)

1 目 的

県内外の留学生に、広島県の留学環境や生活・勉学支援、就職支援の情報や、県内の留学生採用企業情報などを「広島留学ポータルサイト」により提供する。

交流事業を通して、県内留学生間の親睦を深め、日本人学生、地域住民との交流を図る。

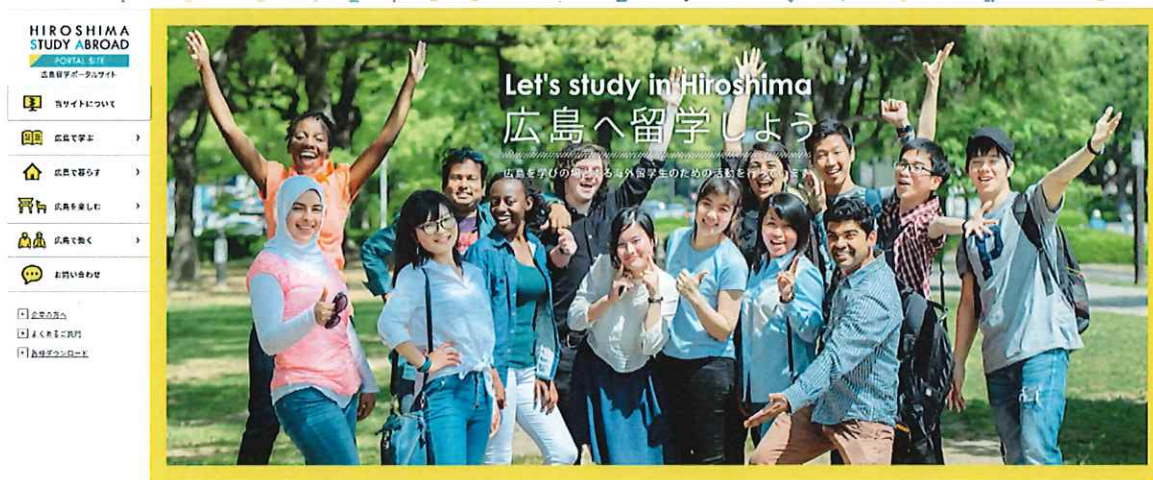
2 事業概要

- ・広島県の留学環境（学習、生活、娯楽など）、広島県の高等教育機関、留学生生活躍支援センターの活動等について情報提供を行う。
- ・フィールドワークやウォークラリーなどの交流イベントを開催し、留学生と日本人学生、地域住民と共にまちづくりについて考え、交流を促進する。

3 令和4年度実績

(1) 留学生ウェブサイト事業

平成30年度に開設した広島留学ポータルサイトの、多言語（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語）対応を実施することにより国内外へ情報発信。また、情報更新を実施。



(2) 留学生交流事業

ア) 留学生・地域住民間の交流

福山市内海町で、地元住民の方から内海町の歴史を伺い、地元の魚介料理を食べたり、地元のインストラクターからカヌーの乗り方を教わったりして交流を図った。

実施日：令和4年8月23日(火)

実施場所：福山市内海町

参加人数：計36名

(留学生26名・地元住民約10名)



イ) 学生団体と連携した交流

広島大学の現役学生とOBのグループ「ひとむすび」と共催

「ひとむすび」：東広島地域の美味しいもの、楽しいものを集めたマーケット「ひとむすびの場」を主催したり、地域情報の発信、地域ツアーの企画運営をしている。

① 安芸高田（安芸高田市）

イニアビ農園での種まき体験や、神楽門前湯治村での散策、地域貢献の一環として周辺のごみ拾いも行い、留学生同士交流を深めた。

実施日：令和4年8月29日（月）

場 所：安芸高田市

参加人数：留学生 15 名



② 豊栄（東広島市豊栄町）

小石川観光りんご園にてりんご狩りを体験した後、地元の地域おこし協力隊の方の家を訪れ、昔ながらの農家の家の見学や蕨のリース作りを通して地域理解を深めた。また地域貢献の一環として、蕨について説明した文書の翻訳作業も行った。

実施日：令和4年10月23日（日）

場 所：豊栄

参加人数：留学生 26 名



ウ) 外国人留学生によるボランティア活動

① 広島県立加計高等学校 文化交流会

留学生による母国紹介を始め、高校生からは琴の演奏やお茶体験、そうめんの試食、かき氷や射的、浴衣の着付け、その他様々なゲームを通して交流をした。

実施日：令和4年7月13日（水）

場 所：広島県立加計高等学校

参加人数：留学生 25 名・高校生約 100 名



② 田植え農業体験

地域の方から日本の米作りの歴史についてお聞きし、手作業での田植え体験をした。日本人学生が調理した野菜カレーを食べたり、レクリエーションを通して交流を深めた。

実施日：令和4年6月11日（土）

場 所：東広島市西条町吉行

参加人数：計 27 名

（留学生 7 名・日本人学生 5 名・地域住民約 15 名）



③ 稲刈り農業体験

6月に田植えをした場所で稲刈り体験をし、日本の農業を学び新しい仲間作りをした。稲刈り後は、餅つき大会をし、ついた餅でお雑煮を食べたりした。

実施日：令和4年10月15日（土）

場所：東広島市西条町吉行

参加人数：計31名

（留学生11名・日本人学生5名・地域住民約15名）



④ しゃぎり秋祭り

辻町内会様主催で豊作を祝う秋まつりが3年ぶりに開催された。留学生はそろいの浴衣を着て、地元の方に踊りを教わり、府中音頭の曲に合わせて踊りながら地域を歩き、地域との交流を行った。

実施日：令和4年10月16日（日）

場所：安芸郡府中町 多家神社

参加人数：留学生21名



エ) ホームステイ・ホームビジット

広島県内の留学生が地域住民の自宅に訪問し、日帰りまたは1泊2日で気軽に家族の一員として一緒に食事を作ったり、お話したり、外出したりして地域の人たちとのつながりを作った。

令和4年度実績：ホームビジット12回

ホームステイ 3回

参加人数：留学生23名

